

人事／採用ご担当者様向け

【2027卒】理系就職活動 トレンド解説資料

理系学生の活動量・接触企業数が減少傾向。
サマーインターンシップでの接点がさらに重要に。

理系ナビ

株式会社ドリームキャリア
キャリアコンサルティング事業部

<https://rikeinavi.com/>

目次

- 01 企業の理系新卒採用意欲
- 02 理系学生のインターンシップ情報収集の開始時期
- 03 インターンシップは優秀な人材獲得に不可欠
- 04 理系学生の就活・学業の現状（学生の声）
- 05 理系新卒採用企業の27卒採用方針（企業担当者の声）
- 06 27卒理系採用活動のポイント
- 07 採用手法別 比較表
- 08 理系ナビの新卒採用支援

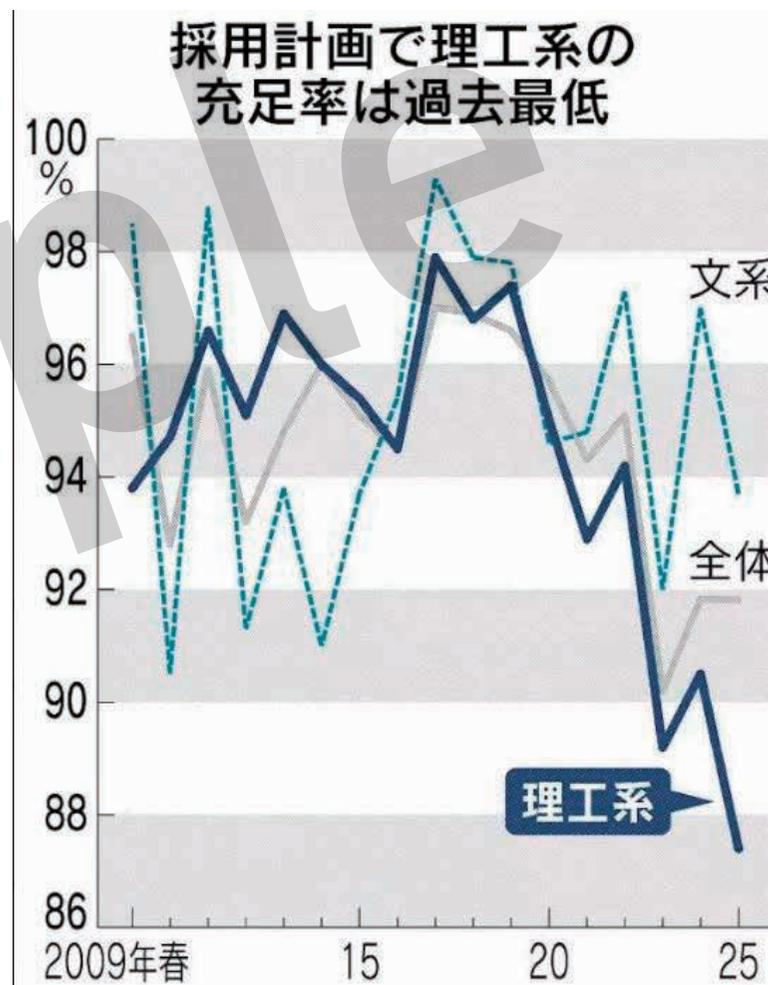
01 企業の理系新卒採用意欲

理工系の新卒採用充足率は過去最低。企業の理系採用意欲は増加の一途。

2025年春の新卒採用市場は、人手不足を背景に学生優位の売り手市場が続いています。採用計画達成度合いを示す充足率は91.8%と過去2番目に低く、理工系については87.4%と過去最低に。以前から求人ニーズの高かった機械・電気系に加え、あらゆる業界から情報系の人材を求めるニーズが高まり続けており、採用競争は激しさを増しています。

経団連が推奨するジョブ型（職種別）採用への移行を進めている企業も増えており、専門性を有した理系人材に対する採用ニーズは27卒でも引き続き高い水準を維持していくでしょう。

また、26卒から専門人材を対象としたインターンシップ参加者の選考前倒しが認められたことで、各社の動き出しは早まっており、優秀な理系人材の新卒採用はより戦略的な採用計画の立案が不可欠となっています。



出展：日本経済新聞2024年10月23日

02 理系学生のインターンシップ情報収集の開始時期

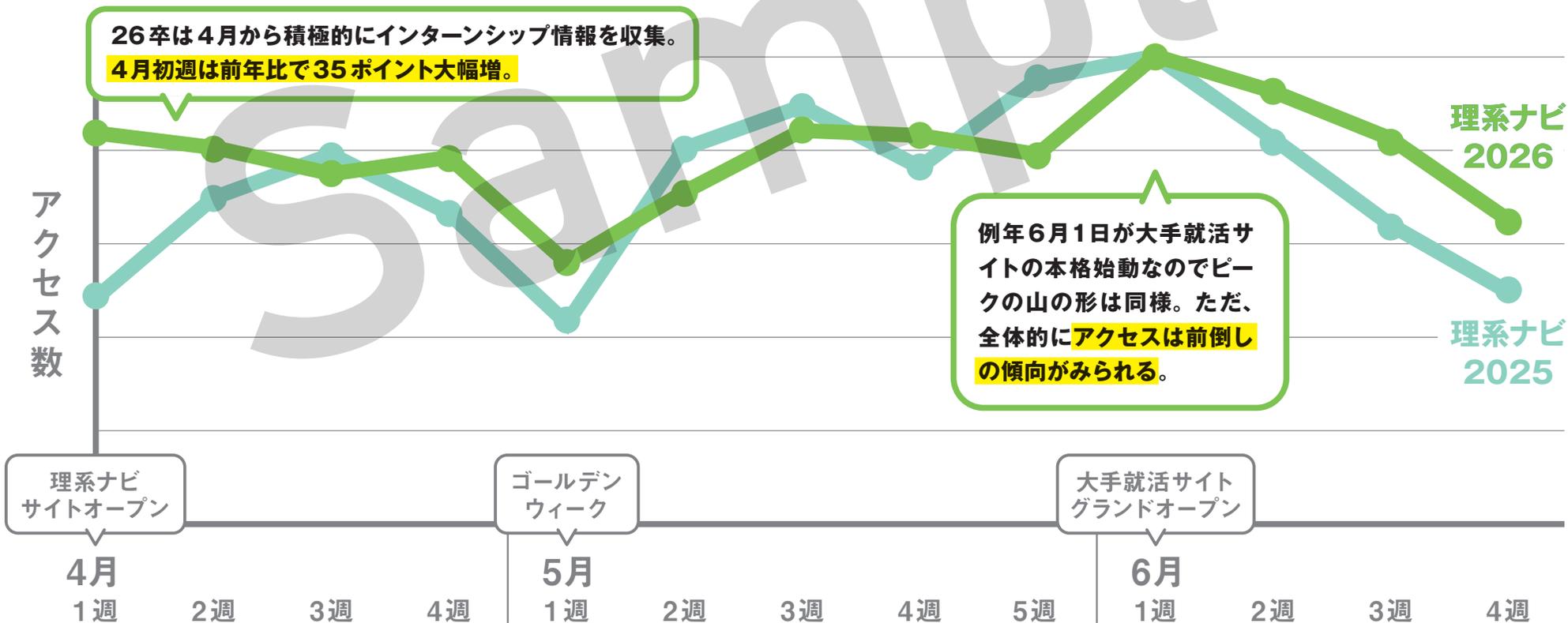
企業の採用情報公開および理系就活生の情報収集も早期化が進む

2026卒対象のインターンシップ／就職情報サイト「理系ナビ2026」では、(学部3年や修士1年の)4月から情報収集に動く学生の比率が上昇しています。

一方、企業側においてもサマーインターンシップや本採用情報を早期公開する企業が多く見られ、5月中にインターンシップの応募受付を締め切ってしまう企業・プログラムもありました。27卒学生の就職活動スケジュールについても企業及び学生双方で、早期化のトレンドは継続しそうです。

【理系ナビ アクセス数の比較】

※理系ナビアクセス比較(6月1週目を100として25卒と26卒推移比較/4月~6月)



本調査資料をご希望のご担当者様は下記問合せフォームより、
「**27卒トレンド調査資料希望**」とご記入の上、資料をご請求ください。

資料請求はこちら